# 進行管理と評価指標

## １．進行管理（評価・見直し）

○本計画の進行管理は、計画の取組による成果や取組の進捗状況を把握するための評価指標を設定し、その状況を定期的に確認しながら、PDCA サイクルの考え方に基づき実行していきます。

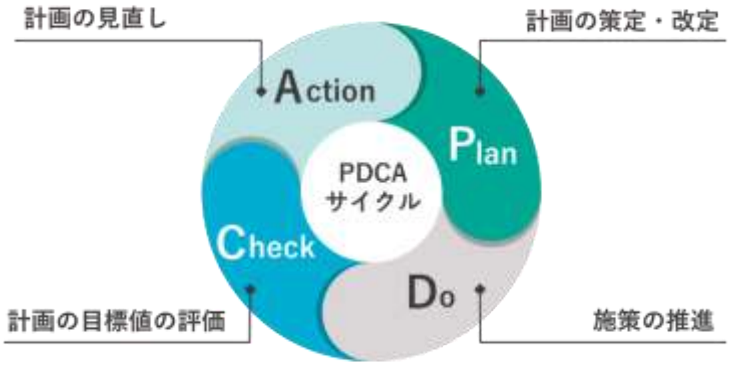



**図　計画の評価・見直しのイメージ（PDCA サイクル）**

**表　評価指標の種類**

<table>
<tr><th colspan="2">種類</th><th>内容</th><th>確認時期</th></tr>
<tr><td colspan="2">成果指標</td><td>立地適正化計画の趣旨とまちづくり方針を踏まえ設定する指標で計画の評価と見直しの必要性の判断に活用するもの</td><td>概ね５年ごと</td></tr>
<tr><td rowspan="3">モニタリング指標</td><td></td><td>計画に基づく取組の効果や進捗状況を確認するための指標で成果指標の評価に活用するもの</td><td>－</td></tr>
<tr><td>定性的</td><td>主に計画に基づく取組により期待される効果を計測</td><td>概ね５年ごと</td></tr>
<tr><td>定量的</td><td>主に計画に基づく取組の進捗状況を確認</td><td>毎年</td></tr>
</table>

＜評価・検証による進行管理のイメージ＞

（年度）

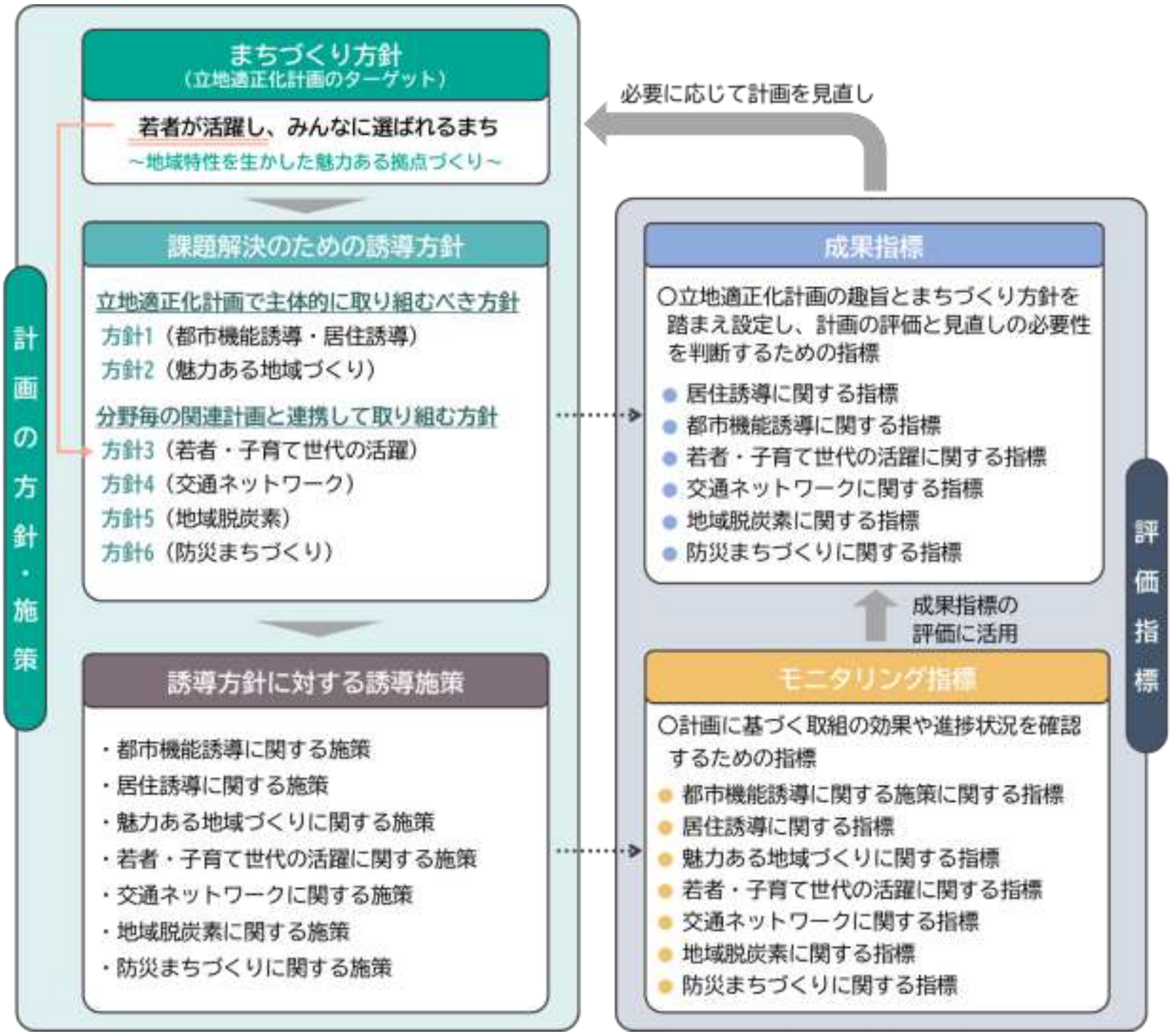
| 項目 | | | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 | R12 | R13 | R14 | R15 | R16 | R17 | R18 | R19 | R20 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 宮古市都市計画マスタープラン [2018-2038] | | | | | | | | | | | | | | | | | ◆ |
| 立地適正化計画 [2024-2038] | | | 公表 | | | | | ★ | | | | | ★ | | | | ★ |
| 計測・評価期間 | 成果指標 | | | ▽ | | 公表 | | | ▽ | | 公表 | | | ▽ | | 公表 | |
| | | | | | | | △ | | | | | △ | | | | | △ |
| | モニタリング指標 | 定性的 | | | | | △ | | | | | △ | | | | | △ |
| | | 定量的 | | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ | □ |
| | 宮古市地域公共交通計画 [2023-2028] | | | | | | | ● | | | | | ● | | | | |
| | 宮古市地球温暖化対策実行計画 [2024-2030] | | | | | | | | | ● | | | | | | | |
| | 宮古市再生可能エネルギー推進計画 [2021-2030] | | | | | | | | | ● | | | | | | | |
| | 宮古市国土強靭化地域計画 [2020-2024] | | | ● | | | | | ● | | | | | ● | | | |

◆：都市計画マスタープランの見直し、★：立地適正化計画の見直し、●：関連計画の見直し
▽：国勢調査、△：市民意識調査、□：その他調査等

## ２．評価指標

○評価指標は、立地適正化計画の趣旨とまちづくり方針を踏まえた「成果指標」と、計画に基づく取組の効果や進捗状況を確認するための「モニタリング指標」を以下のとおり設定します。

＜評価指標の設定＞



＜評価指標の体系図＞

**まちづくり方針**：若者が活躍し、みんなに選ばれるまち　～地域特性を生かした魅力ある拠点づくり～

| 区分 | 誘導方針 | 成果指標 | モニタリング指標（定性的な指標） | モニタリング指標（定量的な指標） | 誘導施策 |
|---|---|---|---|---|---|
| 立地適正化計画で主体的に取り組むべき方針 | 方針1<br>中心市街地の拠点としての機能強化による活気のある都市づくり | 成果指標1<br>市全体の人口に占める居住誘導区域内人口割合<br>成果指標2<br>誘導施設の都市機能誘導区域内の立地割合<br>（方針1・方針2共通） | モニタリング指標1<br>中心市街地の賑わいやまちなみへの市民満足度<br>宮古市総合計画<br>モニタリング指標2<br>宮古駅周辺(中心市街地)に必要な生活サービスに対する市民満足度<br>宮古市総合計画 | モニタリング指標9<br>居住誘導区域内の人口密度<br>モニタリング指標10<br>立地適正化計画届出制度の届出件数(誘導施設・住宅)<br>モニタリング指標11<br>地価(商業地・住宅地、公示価格・路線価)<br>モニタリング指標12<br>都市機能誘導区域内の歩行者交通量<br>モニタリング指標13<br>住宅の建築行為等の届出件数 | 施策1<br>魅力ある中心市街地の創出<br>施策2<br>歩いて楽しい環境の構築<br>施策3<br>良好な居住環境の整備によるまちなか居住の促進 |
| 立地適正化計画で主体的に取り組むべき方針 | 方針2<br>地域特性を生かした拠点の機能強化による魅力ある地域づくり | （成果指標1・2） | モニタリング指標3<br>地域への愛着度<br>宮古市総合計画 | モニタリング指標14<br>地域内の拠点の立地状況(交流拠点・交通拠点) | 施策4<br>拠点機能の維持・強化<br>施策5<br>良好な居住環境の整備<br>施策6<br>地域産業の振興 |
| 分野毎の関連計画と連携して取り組む誘導方針 | 方針3<br>若者や子育て世代が安心して快適に住み続けられるまちづくり | 成果指標3<br>都市機能誘導区域内における、若者や子育て世代の豊かな暮らしにつながる空間や施設の面積<br>成果指標4<br>行政及び行政と市民が協働で行った若者や子育て世代を対象とした取組の数 | モニタリング指標4<br>40代以下の宮古市内に今後も住み続けたい人の割合<br>宮古市総合計画<br>モニタリング指標5<br>40代以下の宮古市への愛着度<br>宮古市総合計画 | モニタリング指標15<br>居住誘導区域内における20～40代の人口増減 | 施策7<br>若者や子育て世代が活躍できる場の創出<br>施策8<br>定住・移住の促進 |
| 分野毎の関連計画と連携して取り組む誘導方針 | 方針4<br>公共交通を利用しやすいまちづくりと各地域における交通手段の確保 | 成果指標5<br>公共交通カバー率<br>宮古市地域公共交通計画と連携 | モニタリング指標6<br>鉄道・バスなどの公共交通が利用しやすい環境の市民満足度<br>宮古市総合計画 | モニタリング指標16<br>宮古駅の乗降客数(JR、三陸鉄道、岩手県北バス) | 施策9<br>公共交通を利用しやすい環境づくり<br>施策10<br>交通手段の確保 |
| 分野毎の関連計画と連携して取り組む誘導方針 | 方針5<br>地域脱炭素の実現による地球にやさしいまちづくり | 成果指標6<br>ＣＯ２排出量<br>宮古市地球温暖化対策実行計画<br>宮古市再生可能エネルギー推進計画<br>と連携 | モニタリング指標7<br>再エネ・省エネへの関心（脱炭素先行地域エリア内）<br>脱炭素地域づくりアンケート | モニタリング指標17<br>居住誘導区域内における、住宅省エネ設備更新促進補助金の利用件数 | 施策11<br>省エネルギー化<br>施策12<br>再生可能エネルギーの導入拡大 |
| 分野毎の関連計画と連携して取り組む誘導方針 | 方針6<br>どんな災害でも人命を守り、迅速な復旧・復興を可能とする安全・安心なまちづくり | 成果指標7<br>総合防災訓練の参加者数<br>宮古市国土強靱化地域計画と連携 | モニタリング指標8<br>自然災害（土砂崩れ・洪水・津波など）に対する防災体制の市民満足度<br>宮古市総合計画 | モニタリング指標18<br>居住誘導区域内における、災害リスクが高い範囲の建築行為の届出件数(※家屋倒壊等氾濫想定区域) | 施策13<br>災害リスクの低減<br>施策14<br>災害リスクの回避 |

## (1) 成果指標

〇立地適正化計画の趣旨とまちづくり方針を踏まえ設定し、計画の評価と見直しの必要性を判断するための指標として、以下の成果指標を設定します。

＜居住誘導に関する指標＞

| 成果指標 1 | 市全体の人口に占める居住誘導区域内人口割合 |
|---|---|
| 基準値 | 14.7%（2020 年）<br>$\frac{\text{居住誘導区域人口}}{\text{宮古市人口}} = \frac{7{,}404}{50{,}369} = 14.7\%$<br>※居住誘導区域内人口密度：55.1 人/ha |
| 目標値 | 14.7%以上（2038 年）<br>※5 年ごとの計画見直し時において、直近の国勢調査の結果を参考に、目標値を見直す必要がある場合には、修正するものとする。<br>※宮古市の人口が人口ビジョンに基づく人口となった場合に目標値達成に必要となる居住誘導区域内人口<br>居住誘導区域内人口<br>＝宮古市人口（人口ビジョン：2035 年）×居住誘導区域内人口割合<br>＝45,398 人 × 14.7%<br>＝ 6,673 人（居住誘導区域内人口密度：49.6 人/ha） |
| 目標値の考え方 | 市全体として人口が減少するなかでも、居住誘導区域内に居住する人口の割合を一定以上確保することを目指すもの<br>※市全体の人口に占める居住誘導区域内人口割合の 2035 年の趨勢値（国立社会保障・人口問題研究所の将来人口推計に基づき算出）と基準値は同程度であることから、基準値と同水準以上を目標値として設定。<br>居住誘導区域内人口割合の趨勢値<br>＝居住誘導区域内人口（社人研推計：2035 年）÷宮古市人口（社人研推計：2035 年）<br>＝6,101 人 ÷ 41,293 人<br>＝ 14.8%（居住誘導区域内人口密度：49.6 人/ha） |
| 期待される効果 | 居住誘導区域内へ居住する人口割合が一定以上確保されることで、生活サービスの維持につながり、良好な居住環境が保たれることで、まちなか居住の促進が図られます |
| 使用するデータ | 国勢調査 |
| 評価する頻度 | 5 年ごと |

＜都市機能誘導に関する指標＞

<table>
<tr><th>成果指標 2</th><th>誘導施設の都市機能誘導区域内の立地割合</th></tr>
<tr><td>基準値</td><td>
23.1%（2024 年）

$$\frac{\text{誘導施設の都市機能誘導区域内立地数}}{\text{誘導施設の市全体立地数}} = \frac{\text{6 施設}}{\text{26 施設}} = 23.1\%$$

【誘導施設の立地状況】

<table>
<tr><th>施設区分</th><th>施設の種類</th><th>誘導施設※</th><th>都市機能誘導区域内の立地数</th><th>宮古市全体の立地数</th></tr>
<tr><td>行政</td><td>本庁舎（市）</td><td>○</td><td>1</td><td>1</td></tr>
<tr><td>医療</td><td>医師数が不足している診療科の病院・診療所（民営）</td><td>◎</td><td>3</td><td>12</td></tr>
<tr><td>介護施設</td><td>全市を対象とする保健センター</td><td>○</td><td>1</td><td>1</td></tr>
<tr><td rowspan="2">子育て</td><td>複合的な機能を持つ保育所・幼稚園・児童館等</td><td>◎</td><td>0</td><td>0</td></tr>
<tr><td>子育て総合支援センター</td><td>◎</td><td>0</td><td>0</td></tr>
<tr><td>教育</td><td>高等教育機関（サテライト機能等）</td><td>◎</td><td>0</td><td>0</td></tr>
<tr><td>文化</td><td>市民交流センター</td><td>○</td><td>1</td><td>1</td></tr>
<tr><td>商業</td><td>小売店舗（店舗面積が1,000㎡を超えるもの）</td><td>◎</td><td>0</td><td>10</td></tr>
<tr><td colspan="3">合計</td><td>6</td><td>26</td></tr>
</table>

※◎：誘導する施設、○：維持する施設
</td></tr>
<tr><td>目標値</td><td>23.1%以上（2038 年）<br>※5 年ごとの計画見直し時において、誘導施設の立地状況を参考に、目標値を見直す必要がある場合には、修正するものとする。</td></tr>
<tr><td>目標値の考え方</td><td>都市機能誘導区域内への誘導施設の維持・誘導を図ることにより、誘導施設の都市機能誘導区域内の立地割合を一定以上確保することを目指すもの</td></tr>
<tr><td>期待される効果</td><td>中心市街地の衰退が懸念される中、中心拠点としての機能強化が図られることにより、中心市街地のにぎわいや活力の創出が期待されます</td></tr>
<tr><td>使用するデータ</td><td>独自調査</td></tr>
<tr><td>評価する頻度</td><td>5 年ごと</td></tr>
</table>

＜若者・子育て世代の活躍に関する指標＞

| 成果指標 3 | 都市機能誘導区域内における若者や子育て世代の豊かな暮らしにつながる空間や施設の面積 |
|---|---|
| 基準値 | 〇〇㎡（調査データなし）（2024 年）　※現在調査中 |
| 目標値 | 〇〇㎡以上（2038 年）<br>※5 年ごとの計画見直し時において、直近の整備状況を参考に、目標値を見直す必要がある場合には、修正するものとする。 |
| 目標値の考え方 | 都市機能誘導区域内における若者や子育て世代の豊かな暮らしにつながる空間や施設を増やすことを目指すもの |
| 期待される効果 | 都市機能誘導区域内における若者や子育て世代の豊かな暮らしにつながる空間や施設を増やすことで、交流の場や支援の場が生み出され、若者や子育て世代の定住に繋がることが期待されます |
| 使用するデータ | 都市機能誘導区域内における若者や子育て世代の豊かな暮らしにつながる空間や施設の延床面積の合計<br>※対象となる空間や施設<br>〇誘導施設に設定されている施設のうち、医療・介護福祉・子育て・教育・文化に関する施設及びそれに関連する空間<br>〇公園・広場・ポケットパーク等<br>〇その他、若者や子育て世代の豊かな暮らしにつながる空間や施設<br>（独自調査） |
| 評価する頻度 | 5 年ごと |

＜若者・子育て世代の活躍に関する指標＞

| 成果指標 4 | 行政及び行政と市民が協働で行った若者や子育て世代を対象とした取組の数 |
|---|---|
| 基準値 | 〇〇回（2024 年）※現在調査中 |
| 目標値 | 〇〇回（2038 年）※調査後に設定 |
| 目標値の考え方 | 若者や子育て世代を対象とした取組を実施することにより市民参加の機会の増加を目指すもの |
| 期待される効果 | 若者や子育て世代を対象とした取組により市民参加の機会が増えることで、市への愛着や誇りが醸成され、若者や子育て世代の定住に繋がることが期待されます |
| 使用するデータ | 独自調査 |
| 評価する頻度 | 5 年ごと |

＜公共交通に関する指標＞

| 成果指標 5 | 公共交通カバー率 |
|---|---|
| 基準値 | 96.1%（2022 年） |
| 目標値 | 100%以上（2029 年） |
| 目標値の考え方 | 宮古市地域公共交通計画の評価指標を準用し、連携して取り組むもの |
| 期待される効果 | 市民が公共交通により外出できる環境が整備されることにより、中心拠点や地域拠点の利便性を享受しやすい環境の確保が期待されます |
| 使用するデータ | 宮古市地域公共交通計画 |
| 評価する頻度 | 5 年ごと |

＜地域脱炭素に関する指標＞

| 成果指標 6 | CO2 排出量 |
|---|---|
| 基準値 | 365 千 t（2023 年） |
| 目標値 | 237 千 t（2030 年）<br>167 千 t（2040 年）<br>81 千 t（2050 年） |
| 目標値の考え方 | 宮古市地球温暖化対策実行計画、宮古市再生可能エネルギー推進計画の取組目標を準用し、連携して取り組むもの |
| 期待される効果 | CO2 排出量の低減による地域脱炭素の実現により、環境にやさしいまちづくりに寄与することが期待されます |
| 使用するデータ | 宮古市地球温暖化対策実行計画、宮古市再生可能エネルギー推進計画 |
| 評価する頻度 | 5 年ごと |

＜防災まちづくりに関する指標＞

| 成果指標 7 | 総合防災訓練の参加者数 |
|---|---|
| 基準値 | 3,300 人（2019 年） |
| 目標値 | 4,200 人（2024 年） |
| 目標値の考え方 | 宮古市国土強靭化地域計画の評価指標を準用し、関連計画と連携して取り組みます |
| 期待される効果 | 総合防災訓練に多くの事業者や市民が参加することにより、地域の防災力の向上や市民の意識啓発につながることが期待される。 |
| 使用するデータ | 宮古市国土強靭化地域計画 |
| 評価する頻度 | 5 年ごと |

## (2) モニタリング指標

〇計画に基づく取組の効果や進捗状況を確認するために、以下のモニタリング指標を設定します。

〇モニタリング指標には目標値を設定しませんが、取組の進捗状況を毎年把握することにより、成果指標の評価時に結果の要因の分析に活用します。

| 誘導方針 | モニタリング指標 | | 誘導施策 |
|---|---|---|---|
| | 定性的な指標 | 定量的な指標 | |
| 方針1<br>中心市街地の拠点としての機能強化による活気のある都市づくり | モニタリング指標1<br>中心市街地の賑わいやまちなみへの市民満足度<br><br>モニタリング指標2<br>宮古駅周辺(中心市街地)に必要な生活サービスに対する市民満足度 | モニタリング指標9<br>居住誘導区域内の人口密度<br><br>モニタリング指標10<br>立地適正化計画届出制度の届出件数(誘導施設・住宅)<br><br>モニタリング指標11<br>地価(商業地・住宅地、公示価格・路線価)<br><br>モニタリング指標12<br>都市機能誘導区域内の歩行者交通量<br><br>モニタリング指標13<br>住宅の建築行為等の届出件数 | 施策1<br>魅力ある中心市街地の創出<br><br>施策2<br>歩いて楽しい環境の構築<br><br>施策3<br>良好な居住環境の整備によるまちなか居住の促進 |
| 方針2<br>地域特性を生かした拠点の機能強化による魅力ある地域づくり | モニタリング指標3<br>地域への愛着度 | モニタリング指標14<br>地域内の拠点の立地状況(交流拠点・交通拠点) | 施策4<br>拠点機能の維持・強化<br><br>施策5<br>良好な居住環境の整備<br><br>施策6<br>地域産業の振興 |
| 方針3<br>若者や子育て世代が安心して快適に住み続けられるまちづくり | モニタリング指標4<br>40代以下の宮古市内に今後も住み続けたい人の割合<br><br>モニタリング指標5<br>40代以下の宮古市への愛着度 | モニタリング指標15<br>居住誘導区域内における20～40代の人口増減 | 施策7<br>若者や子育て世代が活躍できる場の創出<br><br>施策8<br>定住・移住の促進 |
| 方針4<br>公共交通を利用しやすいまちづくりと各地域における交通手段の確保 | モニタリング指標6<br>鉄道・バスなどの公共交通が利用しやすい環境の市民満足度 | モニタリング指標16<br>宮古駅の乗降客数(JR、三陸鉄道、岩手県北バス) | 施策9<br>公共交通を利用しやすい環境づくり<br><br>施策10<br>交通手段の確保 |
| 方針5<br>地域脱炭素の実現による地球にやさしいまちづくり | モニタリング指標7<br>再エネ・省エネへの関心(脱炭素先行地域エリア内) | モニタリング指標17<br>居住誘導区域内における、住宅省エネ設備更新促進補助金の利用件数 | 施策11<br>省エネルギー化<br><br>施策12<br>再生可能エネルギーの導入拡大 |
| 方針6<br>どんな災害でも人命を守り、迅速な復旧・復興を可能とする安全・安心なまちづくり | モニタリング指標8<br>自然災害(土砂崩れ・洪水・津波など)に対する防災体制の市民満足度 | モニタリング指標18<br>居住誘導区域内における、災害リスクが高い範囲の建築行為等の届出件数(※家屋倒壊等氾濫想定区域) | 施策13<br>災害リスクの低減<br><br>施策14<br>災害リスクの回避 |

■定性的な指標

＜方針 1 に対応した指標＞

| モニタリング指標 1 | 中心市街地の賑わいやまちなみへの市民満足度 |
|---|---|
| 使用するデータ | 宮古市市民意識調査における「中心市街地の賑わいやまちなみ」の満足度（設問新設） |
| 評価する頻度 | 5 年ごと |

| モニタリング指標 2 | 宮古駅周辺(中心市街地)に必要な生活サービスに対する市民満足度 |
|---|---|
| 使用するデータ | 宮古市市民意識調査における「宮古駅周辺における生活に必要な機能の充実」の満足度<br>※次回以降の宮古市市民意識調査における設問を「中心市街地における生活に必要な機能の充実」の満足度に改めるものとする |
| 評価する頻度 | 5 年ごと |

＜方針 2 に対応した指標＞

| モニタリング指標 3 | 地域への愛着度 |
|---|---|
| 使用するデータ | 宮古市市民意識調査における「地域への愛着度」<br>※地区ごとの集計 |
| 評価する頻度 | 5 年ごと |

＜方針 3 に対応した指標＞

| モニタリング指標 4 | 40 代以下の宮古市内に今後も住み続けたい人の割合 |
|---|---|
| 使用するデータ | 宮古市市民意識調査における 40 代以下の「定住意向」 |
| 評価する頻度 | 5 年ごと |

| モニタリング指標 5 | 40 代以下の宮古市への愛着度 |
|---|---|
| 使用するデータ | 宮古市市民意識調査における 40 代以下の「宮古市への愛着度」 |
| 評価する頻度 | 5 年ごと |

＜方針 4 に対応した指標＞

| モニタリング指標 6 | 鉄道・バスなどの公共交通が利用しやすい環境の市民満足度 |
|---|---|
| 使用するデータ | 宮古市市民意識調査における「鉄道・バスなどの公共交通が利用しやすい環境」の満足度 |
| 評価する頻度 | 5 年ごと |

＜方針 5 に対応した指標＞

| モニタリング指標 7 | 再エネ・省エネへの関心（脱炭素先行地域エリア内） |
|---|---|
| 使用するデータ | 脱炭素地域づくりアンケートにおける再エネ・省エネへの関心度 |
| 評価する頻度 | 2 年ごと |

＜方針 6 に対応した指標＞

| モニタリング指標 8 | 自然災害（土砂崩れ・洪水・津波など）に対する防災体制の市民満足度 |
|---|---|
| 使用するデータ | 宮古市市民意識調査における「自然災害（土砂崩れ・洪水・津波など）に対する防災体制」の満足度 |
| 評価する頻度 | 5 年ごと |

■定量的な指標

＜方針 1 に対応した指標＞

| モニタリング指標 9 | 居住誘導区域内の人口密度 |
|---|---|
| 使用するデータ | 国勢調査 |
| 評価する頻度 | 5 年ごと |

| モニタリング指標 10 | 立地適正化計画届出制度の届出件数（誘導施設・住宅） |
|---|---|
| 使用するデータ | 立地適正化計画に基づく届出 |
| 評価する頻度 | 1 年ごと |

| モニタリング指標 11 | 地価（商業地・住宅地、公示価格・路線価） |
|---|---|
| 使用するデータ | 居住誘導区域内の地価公示、地価調査、相続税路線価、固定資産税路線価 |
| 評価する頻度 | 1 年ごと |

| モニタリング指標 12 | 都市機能誘導区域内の歩行者交通量 |
|---|---|
| 使用するデータ | 交通量調査における歩行者交通量(調査地点：栄町、末広町、中央通)<br>※宮古商工会議所調べ |
| 評価する頻度 | 1 年ごと |

| モニタリング指標 13 | 住宅の建築行為等の届出件数 |
|---|---|
| 使用するデータ | 建築確認申請 |
| 評価する頻度 | 1 年ごと |

＜方針 2 に対応した指標＞

| モニタリング指標 14 | 地域内の拠点の立地状況（交流拠点・交通拠点） |
|---|---|
| 使用するデータ | 市独自調査 |
| 評価する頻度 | 1 年ごと |

＜方針 3 に対応した指標＞

| モニタリング指標 15 | 居住誘導区域内における 20～40 代の人口増減 |
|---|---|
| 使用するデータ | 宮古市住民基本台帳 |
| 評価する頻度 | 1 年ごと |

＜方針 4 に対応した指標＞

| モニタリング指標 16 | 宮古駅の乗降客数（JR、三陸鉄道、岩手県北バス） |
|---|---|
| 使用するデータ | 各公共交通機関からの情報提供 |
| 評価する頻度 | 1 年ごと |

＜方針 5 に対応した指標＞

| モニタリング指標 17 | 居住誘導区域内における、住宅省エネ設備更新促進補助金の利用件数 |
|---|---|
| 使用するデータ | 支援実績 |
| 評価する頻度 | 1 年ごと |

＜方針 6 に対応した指標＞

| モニタリング指標 18 | 居住誘導区域内における、災害リスクが高い範囲の建築行為の届出件数（※家屋倒壊等氾濫想定区域） |
|---|---|
| 使用するデータ | 建築確認申請 |
| 評価する頻度 | 1 年ごと |